

---

# 日日是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2022年2月2日水曜日

## セッション・パラメータSYSDATE\_AT\_DBTIMEZONEの効果を確認する

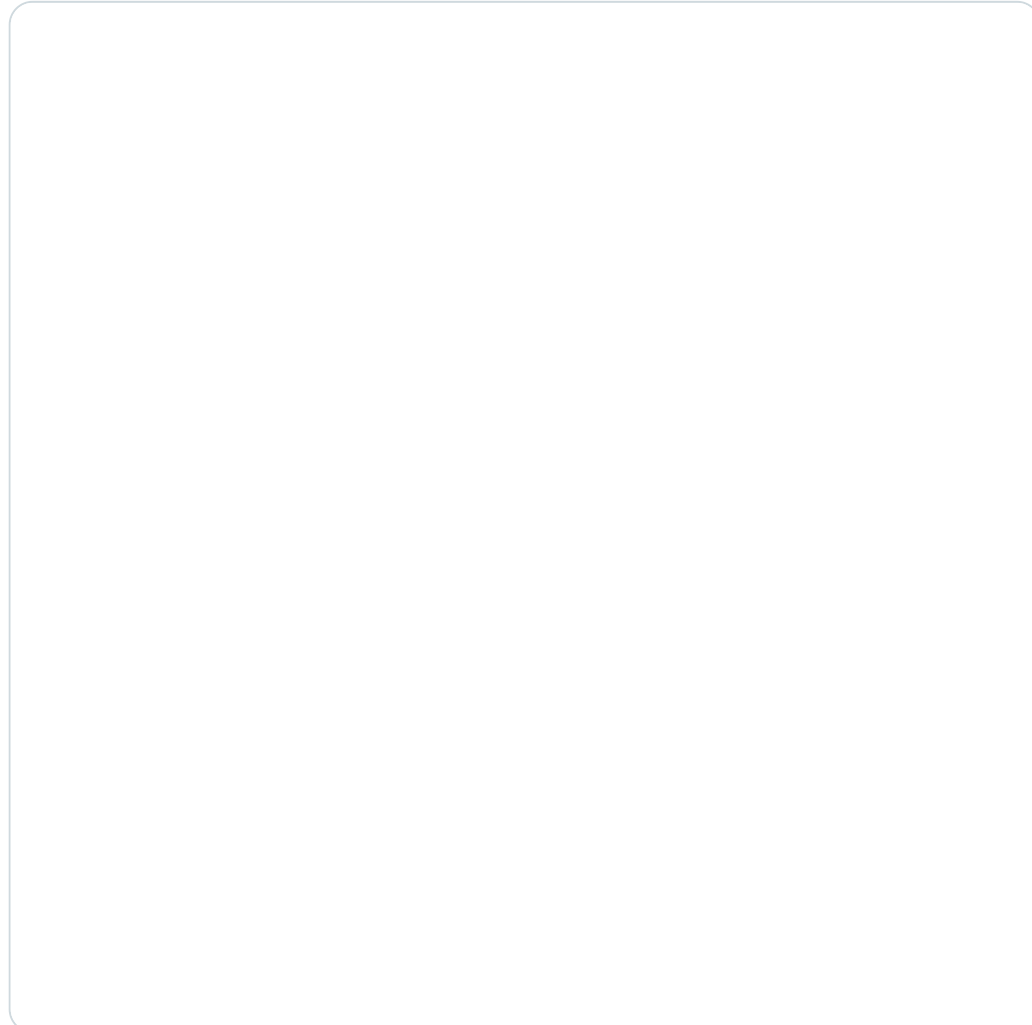
Yasin Baskanさんが以下のツイートをしていたので、SYSDATE\_AT\_DBTIMEZONEの効果をAPEXで確認してみました。

**Yasin Baskan**

@yasinbaskan · [フォローする](#)



Autonomous Database uses UTC as the default OS and DB timezone. You can now change the DB timezone and have SYSDATE and SYSTIMESTAMP return date/time based on that timezone using the new parameter SYSDATE\_AT\_DBTIMEZONE. [docs.oracle.com/en/cloud/paas/...](https://docs.oracle.com/en/cloud/paas/...)



午前6:53 · 2022年2月2日



76



返信



リンクをコピー

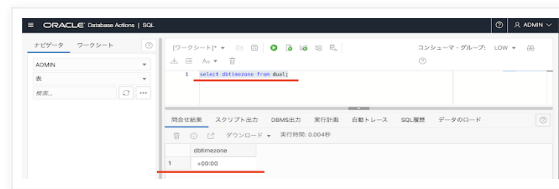
[1件の返信を読む](#)

作成直後のAlways FreeのAutonomous Databaseで作業をします。DBTIMEZONEを変更する必要がありますが、これはデータベースにひとつもTIMESTAMP WITH LOCAL TIME ZONE型の列が作られていないというのが条件です。この型の列が無ければ、DBTIMEZONEの変更はできるはずです。

データベース・アクションにADMINで接続し、SQLの画面から作業を行います。

最初に現在のDBTIMEZONEを確認します。ADBの作成直後はUTC = 00:00です。

select dbtimezone from dual;



DBTIMEZONEを変更します。

alter database set time\_zone='09:00';

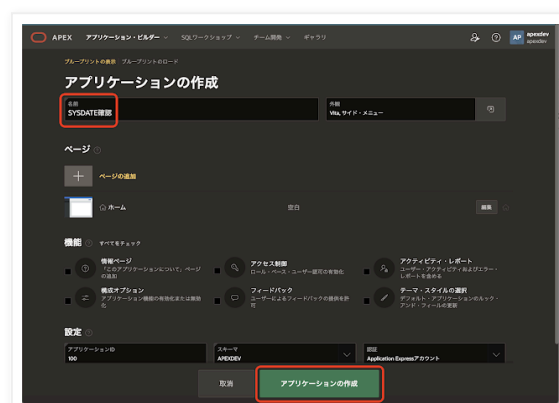


Autonomous Databaseを再起動したのち、先ほどのSELECT文を再度実行し、DBTIMEZONEを確認します。DBTIMEZONEとして+09:00が返されます。

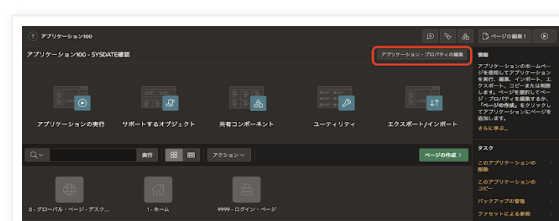


APEXにて新規にアプリケーションを作成します。

名前をSYSDATE確認とします。それ以外は何も設定せず、空のアプリケーションを作ります。アプリケーションの作成を実行します。



アプリケーションが作成されたら、アプリケーション・プロパティの編集を開きます。



グローバル化のアプリケーション日付書式にYYYY-MM-DD HH24:MI:SS、アプリケーションのタイムスタンプ・タイムゾーン書式にYYYY-MM-DD HH24:MI:SS TZH:TZMを設定します。この設定は、DATEおよびTIMESTAMP WITH TIME ZONE型のデフォルトの書式マスクになります。

**SYSDATEおよびSYSTIMESTAMPが返す日時に、自動タイムゾーンの設定は影響を与えませんが、混乱しないように、自動タイムゾーンはOFFのままにします。**

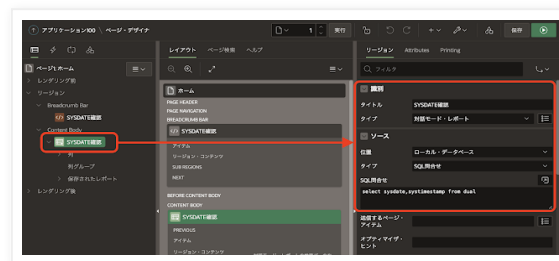
変更の適用をクリックします。



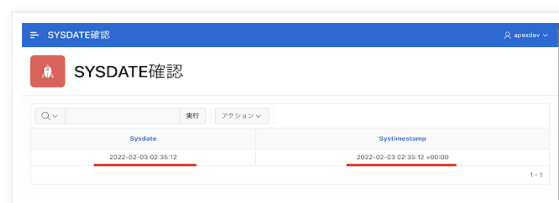
ページ・デザイナーでホーム・ページ（ページ番号1）を開き、対話モード・レポートのリージョンを作成します。

ソースのタイプをSQL問合せ、SQL問合せとして以下を記述します。

`select sysdate,systimestamp from dual`



ページを実行して、SYSDATEとSYSTIMESTAMPの値を確認します。この時点では、**SYSDATEはUTC**です。

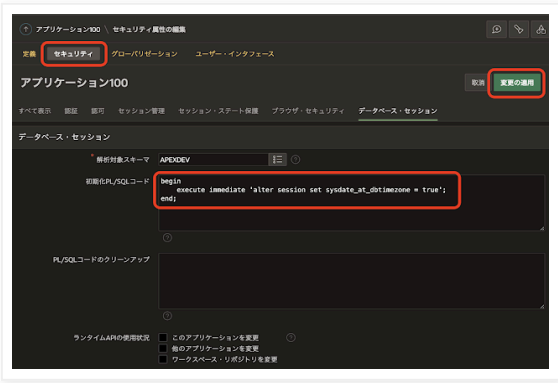


アプリケーション・プロパティの確認を開き、セキュリティのタブを選択します。

データベース・セッションの初期化PL/SQLコードに以下を記述し、変更の適用をクリックします。

```
begin
  execute immediate 'alter session set sysdate_at_dbtimezone = true';
```

end;



ホーム・ページを開き、SYSDATEとSYSTIMESTAMPの値を確認します。先ほどのUTCから9時間進んだ時刻、つまり**日本時間**で表示されていることが確認できます。



以上でSYSDATE\_AT\_DBTIMEZONEの効果を確認することができました。

完

Yuji N. 時刻: 22:41

共有

ウェブ バージョンを表示

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

詳細プロフィールを表示